

令和元年度学校評価 ポイント集計一覧

R2 1. 29

教育の重点	具体目標から	自分の評価(主語:私は)						学校の評価(主語:学校は)								
		4	3	2	1	無	平均	4	3	2	1	無	平均			
1-①	将来の可能性が具体的に分かること	卒後の生活を見とおした指導	5	18	7	0	0	2.93	2.81	7	18	2	0	2	3.19	3.1
1-②		進路の選択肢や見通しの提供	4	10	15	0	1	2.62		7	18	3	0	2	3.03	
1-③		社会参加できる内面・言語能力の育成	4	17	8	0	1	2.86		4	20	5	0	1	3.03	
2-①	社会参加・地域から学ぶ	地域や社会、他者とのかかわりを意識した指導	9	14	7	0	0	3.07	2.99	10	19	0	0	1	3.34	3.23
2-②		地域等との関わりの中で、自己有用感の育成	4	20	6	0	0	2.93		7	21	1	0	1	3.21	
2-③		社会参加の視点で、連携する態度・努力の育成	6	17	7	0	0	2.97		9	16	5	0	0	3.13	
3-①	小中高の学びの連続性	高等部卒業時の姿を念頭にした指導	7	16	7	0	0	3	3.09	9	18	1	0	2	3.29	3.29
3-②		前年度までの学びの履歴を踏まえた指導計画	9	15	5	0	1	3.14		11	16	2	0	1	3.31	
3-③		教材や備品の適切な整備	9	16	5	0	0	3.13		10	17	2	0	1	3.28	
4-①	(国際)社会に発信する表現力の向上	内面や考えを発信する有益さを伝える	9	17	4	0	0	3.17	3.08	11	14	3	0	2	3.29	3.29
4-②		プレゼンや、社会事象を捉え分析する力	6	12	11	0	1	2.83		12	13	4	0	1	3.28	
4-③		考えや意思を積極的に発信する意欲育成	10	17	3	0	0	3.23		12	14	3	0	1	3.31	
5-①	自己及び他者理解による心の豊かさ	他者の理解、受容、尊重できる人間像の育成	5	18	6	0	1	2.97	2.95	9	16	4	0	1	3.17	3.23
5-②		自己主張と他者の主張の受入の両面の成長	7	13	9	0	1	2.93		9	19	1	0	1	3.28	
5-③		正義感や社会的マナーの育成	6	16	7	0	1	2.97		9	18	2	0	1	3.24	
6-①	介護される存在だからこそその自治的能力の育成	自己決定、行動、自己責任の育成	6	14	10	0	0	2.9	2.88	8	17	4	0	1	3.28	3.14
6-②		周囲の状況や意見の相違への柔軟な対応の力	6	16	8	0	0	2.97		7	21	1	0	1	3.21	
6-③		意思表示できる内面と手立ての育成	5	15	10	0	0	2.86		7	17	5	0	1	3.07	
計			117	281	135	0		2.97		158	312	48	0		3.21	

経営の方針	具体目標から	自分の評価(主語:私は)						学校の評価(主語:学校は)								
		4	3	2	1	無	平均	4	3	2	1	無	平均			
ア-①	同僚性を築き、協働する組織の形成	同僚との相談や連携	10	16	4	0	0	3.2	3.14	8	17	5	0	0	3.1	3.07
ア-②		気づきや考えを発信する	10	12	7	1	0	3.03		8	18	7	0	0	3.03	
ア-③		他者の考え方の尊重と自己主張の折り合い	10	16	4	0	0	3.2		7	17	5	0	1	3.09	
イ-①	専門性の向上と病弱教育の発展に向けた取組	専門性を高めるための積極的な研修	9	13	8	0	0	3.03	2.92	11	16	3	0	0	3.27	3.06
イ-②		ほかの教員の授業参観	2	14	13	1	0	2.57		3	13	11	1	2	2.64	
イ-③		卒後のイメージを持ちながらの授業設計	8	15	6	1	0	3		7	14	7	0	2	3	
イ-④		新しい理論や取組の本校教育への反映	3	18	8	1	0	2.77		5	19	5	0	1	3	
ウ-①	病院、保護者、地域等との連携。「なぜ？」の共有。	教育的ねらいを共有した外部との連携	5	17	7	1	0	2.87	2.97	9	16	4	0	1	3.17	3.23
ウ-②		病院や保護者等との適切な情報交換	4	19	3	2	2	2.89		8	16	3	1	2	3.11	
ウ-③		交流及び共同学習の有効な活用	10	15	4	1	0	3.13		13	16	1	0	0	3.4	
エ-①	教育環境の充実(施設設備、予算、人権感覚)	年齢に相応しい呼称や態度ができたか	18	12	1	0	0	3.57	3.48	10	14	4	2	0	3.07	3.28
エ-②		児童生徒の存在そのものを大切にできたか	26	5	0	0	0	3.83		20	9	1	0	0	3.63	
エ-③		教材、備品、研修等の適切な予算執行	16	12	1	0	1	3.52		11	17	0	0	2	3.43	
エ-④		教育環境の課題を見だし、改善に向けて行動する	8	16	5	0	1	3.1		9	15	2	0	4	3.11	
オ-①	働く環境、職務執行に相応しい心身の健康	業務量は適切だ(「1」はオーバーワーク)	12	14	4	0	1	3.16	2.99	4	15	7	0	4	2.88	2.88
オ-②		放課後の使い方は適切だ	7	13	11	0	0	2.87		7	13	8	1	1	2.9	
オ-③		教材準備等、授業にかける時間は十分だ	11	11	8	0	1	3.37		7	14	5	1	3	3	
オ-④		校内の人間関係で疲弊していない(「1」は疲弊している)	9	7	12	3	0	2.71		4	14	9	1	2	2.85	
オ-⑤		周囲の同僚の悩みや課題に積極的にかかわった。	10	9	10	1	1	2.93		6	14	6	2	2	2.86	
計			192	257	118	13		3.1		161	290	95	10		3.08	